

〔翻 訳〕

『スペクテイター』(57)

——第540号から第549号——

門 田 俊 夫

第540号 1712年11月19日（水曜日）

【スティーラー】

一つ枝を折ると、次も劣らず黄金となり、
枝はいつも同じ金属を繁らせる。(ウェルギリウス)¹⁾

観察者殿

貴殿の著述の中で、ミルトン論ほど素晴らしいものはないと思います。わが国の気高い著者の作品にそれにふさわしい優雅な光を当てることは、尊敬すべき誠実な試みです。もし貴殿が同様にスペンサー賛辞をしていただくか、少なくとも以下に述べます私のまとまりのない提案を活字にして私のこの魅力的な著者への情熱を満足させていただけないとしますと、貴殿への私の気持ちの大半は失せてしまうに違いありません²⁾。

スペンサーは概ね、神聖、節制、貞節、友情、正義、そして礼節という6つの美德についてそれぞれに人物を配して描写することを意図しています。この6人の登場人物は、それぞれの特性にふさわしい寓意が与えられ、各人が持っているそれぞれの美德を十二分に体现することになっています。

美德の一つ一つは、それぞれの表題を設けて、見事に描写されます。不適切な表象は皆無で、驚くほど美しいものです。赤十字の騎士は信仰生活のあらゆる場面に登場します。ガイアンは自分に求められる可能な限りの節制に努めます。プリトマート（女性）は心を動かされない貞節の真のルールに気づいています。アーティガルはどこから見ても厳格で賢明で正義の人です。キャリドアは正しく礼節を守ります。

要するに、妖精の国では、義侠の士たちが登場し、アリオストつまり狂えるオランダでは必ず信用を落とすようなことを行いますが、スペンサーの騎士たちは、前述の6つの表題を設けて、クリスチャン、一般の人々、および卑劣な人々の様子を真に詩的にいかになく発揮します。

友情の物語は拡散していますが、寓意は実に見事です。他の表題の人物も登場し、騎士

1) ウェルギリウス『アイネーイス』6.143

2) エドモンド・スペンサーについては、タトラー紙で何度か言及される。

一人では全体を支えきれません。

国に敬意を払うことにかけては、アーサー王が、神聖、節制、貞節、および正義全般にわたる英雄であり、抜きでた存在となっています。同様の理由から、そしてエリザベス女王に賛辞を贈るために、妖精の女王グロリアーナの宮廷は抑圧された人々の避難所になっており、輝かしい女王を浮かび上がらせます。グロリアーナの命令によって、すべての騎士たちが出立します。そして女王の命令が下ると、赤十字の騎士は怪獣を倒し、ガイアンは至福の園を破壊し、アーティガル（すなわち、正義）はベルジェ（すなわち、オランダ）を救うために、ジェリオニーオー（すなわち、スペイン王フェリペ2世）を打ち負かします。さらに彼はアイリーナ（すなわち、ヨーロッパの平和）を取り戻すために、グラントート（同じく別の観点から見たフェリペ2世）を打ち負かします。

女性の第一の美德である貞節すなわちブリトマートはブリトン人です。彼女の役割は解説が必要ですが、申し分ありません。彼女の気品はとても詩趣に富んでおり、地口とか見せかけの機知とかこじつけの対立とかその他低劣なものは一切ありません。

スペンサーの用いる古い言葉はすべて真正正銘の英語であり、詩脚はこの上なく素晴らしいものです。「言葉は何度も生まれ変わ」³⁾、すべて適切であり、こういった詩は（ミルトンの詩と同様に）通常の言葉では言い換えが利かないものです。いくつかその描写を取り上げて見ます。

ブリトマートがいわれなき嫉妬に襲われ不安になる箇所

わがままな子供が、ぐっすり眠っていたのに、何か恐ろしい夢に
おびえて目をさますと、つむじを曲げて泣き出し、
乳母がどんなに宥めてもおとなしくならず、蹴ったり、
駄々をこねて泣きわめいたり、乳母をひっかくかと思うと、
その垂れた髪の毛をひっぱったり、暗い所に連れて行けと
言うかと思うと、明るい所へと言い出し、乳を飲みたがるかと思うと、
はねつけたりするが、恋に目がくらんでやたらに相手を責め立てる
この婦人の発作は、正にこのようなものだった⁴⁾。

恋人の不在時に嫉妬が引き起こす好奇心の箇所

長い間そこで眺めていると、大急ぎでこちらへやって来る者が
遂に彼女の目にとまった。それが誰かはつきると見分けられないうちに、
まさしく恋人から遣わされた者であることがよく分かった。
そこで彼女の心は希望と恐れとでいっぱいになり、
彼がその場にやって来るまで待ちきれず、恋人の便りを少しでも

3) ホラティウス『詩の技法』70

4) スペンサー『妖精の女王』第5巻第6篇第14節。この箇所の日本語訳は、和田勇一監修、熊本大学スペンサー研究会訳『妖精の女王』（文理書院、昭和44年）を借用。以下同様。

知ろうと、彼を迎えにかけ出した。
 ちょうど戸口の所でタラスに会うと、彼女は言った、
 「で、お前のご主人はどこなの。ここからどれくらいの所に
 いらっしゃるの。すぐにお話し。そしてその勝敗は」⁵⁾。

心配とその家について語る箇所

すると程遠からぬ所に、貧しい人の寝ぐらと覺しく、
 とても客など泊められそうもない一軒の小さな家を見つけた⁶⁾。

入ってみると主人みずから、まことに忙しく仕事に打ち込んでいた。
 この男は、つまり、やくざな悪い妖精で、眼はくぼみ、頬は落ち、
 まるで長いこと牢獄に閉じこめられていたかのようだった。
 顔は真黒で物凄く、目も見えなくなるほど煙にまみれていた。
 強いひげを生やし、白髪は伸び放題で、^{くしげず}梳られたこともなく、
 また綺麗に刈り込まれたこともなかった⁷⁾。

着物は粗末で、ぼろぼろに破れていたが、これより良いものは
 持たず、また、これより良いものを求めもしなかった。
 おきの中で焼けて火ぶくれしている手。
 切ったこともなく長く伸びた指の爪。これは彼が^と摂る食物を
 裂くのにうってつけだった。その名は『心配』で、商売は鍛冶屋、
 昼夜の別なく仕事を休まず、ほとんど何の役にも立たないのに
 鉄の楔を作っていたが、この楔は、苦労性の人の心に侵入する
 落着かない気持なのである⁸⁾。

ホメロスの表現は古代の人々から大いに賞賛されました。赤十字の騎士が真実を見失っ
 た森の木々に対するつぎの表現がいかに妥当性と変化に富んでいるか見てください。

船の柱にする松、誇らかに伸びた杉、ぶどうの支柱にする^{にれ}楡、
^{みずけ}水気に富むポプラ、森の王者で建築材になる樫、杖によい^{はこやなぎ}白楊、
 死を悼む糸杉⁹⁾。

5) 『妖精の女王』第5巻第6篇第8-9節。

6) 『妖精の女王』第4巻第5篇第32節。

7) 『妖精の女王』第4巻第5篇第34節。

8) 『妖精の女王』第4巻第5篇第35節。

9) 『妖精の女王』第1巻第1篇第8節。

覇者と詩聖の誉れとなる月桂樹、いつも泣いている樅^{もみ}、
 捨てられて恋人たちが身につける柳、弓造り師の意のままになる櫟^{いちい}、
 槍の柄や矢に使う白樺、水車用の猫柳、苦い傷から甘い血を流すミルテ、
 戦車用の櫪^{ふな}、すべてに役立つ秦皮^{とねりこ}、実り豊かなオリーブ、
 丸く枝をはる鈴掛^{すずかけ}、彫刻用のうばめがし、大抵は幹がうつろな楓^{かえで}¹⁰⁾。

これ以上貴殿を煩わせることはいたしません。最後に貴殿がすでに引用なさったことがあると思いますが、つぎの一節を紹介させてください。中傷に苛まれる乙女への忠告です。

「私にできる最良の忠告は（と隠者は言った）、病^{やまい}を招く原因になる事を避けよということです。災の生じる原因が取り除かれれば、結果も常に消滅するからです。快楽を避け、我意を押え、欲望に打ち勝ち^{みだ}、淫らな楽しみに手綱をかけ、食事は腹八分にして満腹を避け、内緒事を謹んで、話は堂々となさい。そうすれば、間もなく今の病気を治せましょう。』¹¹⁾

第541号 1712年11月20日（木曜日）

【ヒューズ】

自然は、私たちを作り、心を和ませ、顔に出る
 私たちの運命の変化を書き留める。
 喜びにうっとりし、激しい怒りに心をくだし、
 悲嘆に落胆し、魂は苦しめられる。
 これらはすべて話し方を見れば分かる。（ホラティウス）¹⁾

私が頻繁に触れている友人のテンプル法学院の学徒は、法律を究めるために、詩の研究を一時中断することを決意して、最後の小論として「発音と動作」に関する考えをまとめました。それをみなさんに伝えて欲しいとのこと。この小論は主として彼のお気に入りの著者キケロを基にしてまとめられています。キケロは当時の最も雄弁な弁論家だっただけでなく、俳優兼優れた劇評家だったロスキウスの親友だったことが知られています。

キケロは名高い書物『弁論家について』を発音と動作に関するいくつかの指針で締め括ります。この発音と動作がないと、どんな雄弁家も決して成功することはない、一方で、平凡な人でも、これを自由に使える人は大きな拍手を得る、と彼は断言します。「惨めなわたしはどこへ行けばよいのか。カピトリーウムへか？ だが、流された夥しい兄の血潮にあふれている。家へか？ 嘆きの声をあげ、意気消沈し、哀れな母の姿を目にするために？」²⁾ というグラックスの叫びほど強烈な感動を与えるものはない、と彼は言います。

10) 『妖精の女王』第1巻第1篇第9節。

11) 『妖精の女王』第6巻第6篇第14節。

1) ホラティウス『詩の技法』108-11

この激しい感情の中断や変化は話者の目や声や身振りによって強化されたので、敵でさえ涙を禁じえなかったようです。これについて必要以上に語るのは、現実世界を実際に演じる役者である雄弁家たちがこういった喋り方を止めて、現実世界の単なる模倣者に過ぎない俳優たちの独占物になってしまっているからだ、とキケロは主張します。

それゆえ、私はキケロの言わんとすることを追求し、わが国の舞台のために、この偉大なローマの巨匠が規定したルールをいくつか書き写したいと思います。とはいえ、私はキケロの考えや言葉に全面的に縛られるわけではありません。むしろ、彼が古代の悲劇から挿入している例ではなく、私の意図に合うように、わが国の有名な類似の一節を活用する積りです。

技術の目的は自然の描写においてできるだけ行為を助けることです。現実の様相次第で、私たちはさまざまな表現を取らされます。常に大きな力となるわけです。表現が自然に近づけばそれだけ、表現は模倣からかけ離れたものになります³⁾。

自然自身は、あらゆる感情に、固有の表情、声の調子、そして身振りを割り当てています。人間の身体全体、表情、そして声の調子は、まるで楽器の弦のように、心に刻まれた感じに呼応します⁴⁾。したがって、声の調子は、心に生起するさまざまな感触に応じて、かん高くなったり低くなったり、早くなったり遅くなったり、大きくなったり小さくなったりします。こういった調子はまた、それぞれ穏やかな声、粗野な声、張り詰めた声、拡散した声、引き伸ばされた声、途切れた声、ひび割れた声、不意の声、柔和な声、高揚した声などに細別されます。どの声の調子にも技術と感覚を必要とします。役者にとって、いずれもまるで画家にさまざまな彩を与える色彩のようなものです。

怒りの場合は、一段とかん高い、性急な調子となります。シェイクスピアが見事に描写していますが、リア王の情熱的な性格はこの種の最も強力な例に富んでいます。

くたばるがいい！ 地獄に堕ちろ！

火のような？ ご気性？ グロスター、グロスター、
国王がコーンウォールに会いたいのだ、父親が娘に会いたいのだ、
迎えにこいと命じておるのだ。そう申しあげたのか？

ええい、畜生！ 火のような？ その火のような怒りっぽい公爵に言え！⁵⁾

悲しみや不満の場合は、声は悲しみに沈んだ調子で、従順であったり、緩慢であったり、途切れたりします。ちょうど、それは失墜について語る枢機卿ウルジーの哀愁に満ちた独白のように。

うむ、さらばだ、わが敬愛する小貴族ども。

さらばと言えば、わが偉大なる地位とも永久におさらばだ。

人間の運命とはこうしたものか、今日、ういういしい

2) キケロ『弁論家について』3.56.214

3) 『弁論家について』3.57.215

4) 『弁論家について』3.57.216-17

5) 『リア王』第2幕第4場96-97行、104-5行。

希望の新芽を吹き出し、明日、一勢に花開いて
 燦然たる名誉の飾りを身にあまるほどつけたかと思うと、
 三日目にはもう霜が、万物を枯死させる霜がきて、
 疑うことも知らぬまま自分ではますます栄えるものと
 安心しきっている最中に、その根を^か噛みちぎられ、
 どうと倒れるのだ、このおれのように⁶⁾。

『悲嘆に暮れる母』のアンドロマケにも素晴らしい例があります。とりわけ、つぎの詩行がそうです。

私は行きます、心にわが子への嘆き悲しみを抱えながら。
 あの子が亡くなり、私の生活が埋もれてしまうのなら、
 私はこれ以上生きたくありません。
 私が囚われの身に耐え、ヘクトルよりも長生きしているのも
 息子のためだったのです。
 そうです、アステュアナクスよ、私たちは共に行くのです。
 二人して死の王国へ行くのです。
 その国へ行ったら、あなたのうっとりとした目に、
 あなたの父上を、そうです亡霊たちの中から父上を
 探し出してあげよう⁷⁾。

恐れの場合は、低く、口ごもりがちで、意気消沈した調子となります⁸⁾。もし夫がダンカンとその家来を殺害している最中に、マクベス夫人が語るつぎの台詞を考えると、彼女が喋っているときに、自分自身の声の調子にさえ脅えているのが分かるでしょう。

ああ、あの二人が目覚めたのでは、
 まだすまないうちに。やろうとしてやりとげなければ
 私たちは破滅。シーッ。二人の短剣はそばにおいた、
 見落とすはずはない。あの寝顔が私の父に似ていなければ
 私がこの手でやったのに⁹⁾。

勇気の場合は、ドン・セバスチャンのように、声が大きくなります。

ここであなたの怒りを十二分に満足させるのだ。
 運命の女神に矢を私に向けさせて矢筒をすべて空にさせるのだ。
 私には大きな盾のように矢をすべて受け止めても、
 まだ余るほどの魂が備わっているのだ¹⁰⁾。

喜びの場合は、『カイクス・マリウス』のつぎの詩行のように、淫らで、穏やかで、優

6) 『ヘンリ 8 世』第 3 幕第 2 場 351-8 行。

7) アンブローズ・フィリップス『悲嘆に暮れる母』第 1 幕第 5 場 1-9 行。

8) 『弁論家について』 3.58.218

9) 『マクベス』第 2 幕第 2 場 10-14 行。

10) ドライデン『ドン・セバスチャン』 1

しく、うきうきした調子となります。

ラヴィニアよ、あなたの名前には美しい調べがある、
私の心を和ませ、幼児のような優しい心にしてくれ、
まるで、初めてでもあるかのように、私の心は浮き立つ¹¹⁾。

困惑の場合は、以上の調子と違って、ハムレットの名高い台詞のように、歎き悲しんでいないわけではないが、とても真剣でむらのない調子の厳粛なものになります。

このままでいいのか、いけないのか、それが問題だ。
どちらがりっぱな生き方か、このまま心のうちに
暴虐な運命の矢弾をじっと耐えしのぶことか、
それとも寄せくる怒濤の苦難に敢然と立ちむかい、
闘ってそれに終止符をうつことか、死ぬ、眠る、それだけだ。
眠ることによって終止符はうてる、心の悩みにも、
肉体につきまとう数々の苦しみにも。それこそ願ってもない
終わりではないか。死ぬ、眠る、眠る、おそらくは夢を見る。
そこだ、つまりくのは。この世のわずらいからかろうじてのがれ、
永の眠りにつき、そこでどんな夢を見る？ それがあるからためらうのだ。
それを思うから苦しい人生をいつまでも長びかすのだ。
でなければだれかががまんするか、世間の鞭うつ非難、
権力者の無法な行為、おごるものの侮蔑、さげすまれた恋の痛み、
裁判のひきのぼし、役人どもの横柄さ、りっぱな人物がくだらぬやつ
相手にじっとしのぶ屈辱、このような重荷をだれかががまんするか、
この世から短剣のただ一突きでのがれることができるのに。
つらい人生をうめきながら汗水流して歩むのも、
ただ死後にくるものを恐れるためだ。死後の世界は未知の国だ、
旅立ったものは一人としてもどったためしはない。
それで決心がにぶるのだ、見も知らぬあの世の苦勞に飛びこむよりは、
慣れたこの世のわずらいをがまんしようと思うのだ¹²⁾。

こういったさまざまな声は感覚によって導かれますように、動作は声に導かれます。いわば、声を補強するための動作が適切に付け加えられるわけです。キケロに言わせると¹³⁾、腕は雄弁家の武器であって、振り上げたり伸ばしたりします。手はその動きによって、口にする言葉を導いたり、言葉にしたがったりします。足を踏み鳴らすこともまた、論争や怒り、あるいは絶対的な命令を適切に表現することになります¹⁴⁾。顔はその人全体の縮図となり、目は、いわば、顔の縮図となります。それゆえ、彼が言うには、ローマの最も

11) オトウエイ『ガイウス・マリウス』1.305-7

12) 『ハムレット』第3幕第1場56-82行。

13) 『弁論家について』3.59.220

14) 『弁論家について』3.59.221

優れた鑑識眼を持った人たちは、仮面をかぶったロスキウスをさほど称えなかったとのことです。顔以外の体のどの部分も、心のさまざまな感情の変化を表すことは出来ません。また、感情の変化を表現するときには、目の動きを欠かすことは出来ません。そこで、テオフラストスは目を動かさずに単に台詞を語る俳優を「観客に背を向けた俳優」と呼んだのです¹⁵⁾。

顔の表情はさまざまな変化を受け入れますので、これを適切に統御する判断力を必要とします¹⁶⁾。滑稽でおどけた仕草にならないように、顔の形を状況に応じて変えるべきではありません。目が心の動きを示す大きな力を持っているのは確かなことです。言葉の変化にしたがって、一点を見据えているかと思えば、ほんやりした眼差しとなり、急に注視するかと思えば、喜びに満ち溢れたような眼差しとなるのです。動作は、いわば、顔や手足の言葉です。それゆえ、動作は常に感情にしたがわなくてはなりません¹⁷⁾。身振りということでは、自然によって大きな力が植え付けられていることが分かります。なぜなら、粗野な人、無知な人、さらにはこの上なく野蛮な人までも、大抵の人が身振りに心を動かされるからです。その言語を理解する人以外は、言葉に心を動かされることはありません。飲み込みの悪い人には言葉の感覚は伝わりませんが、動作は一種の普遍的言語です。誰でも同じ感情にとらわれ、これによって他人に同じ結果をもたらすことが出来るのだということが分かっています。

おそらく、読者の中には、私がキケロから引いた助言はわが国の役者には少々洗練され過ぎているとお考えの人がいると思います。これに応えるために、格言として、良識がなければ誰も立派な役者にはなれないということ、そしてまた、ローマの雄弁家が語る発音と動作のルールを理解できない役者はローマの英雄の威厳を語る能力に欠けているのだと述べておきます。

キケロが純粋に技術的なことだが、主張しておきたいと考える点がもう一つあります。それは適切な声の調子ということです。ここで、キケロは、グラックスが召使に小さな象牙の笛を用意させ自分の背後に立たせたという話を語っています。声の調子がくるったときに、調整するようにとの合図の音を吹かせたのです¹⁸⁾。キケロによると、すべての声には程よい音程があり、この音程は一人一人の声によって異なっている、そして演説の甘美さは極端に走らず、自然な音程を保つことから生じるということです。そこで、キケロは「笛は家に残しておき、この教訓を携えていくように」と言います¹⁹⁾。

15) キケロはこの役者をタウリスクスとしている。

16) 『弁論家について』 3.59.222

17) 『弁論家について』 3.59.223

18) 『弁論家について』 3.60.225

19) 『弁論家について』 3.61.227

第542号 1712年11月21日(金曜日)

【アディソン】

彼は笑い、自分が自分よりも好かれているのを喜んだ。

(オウィディウス)¹⁾

私の新聞が話題になった集まりに出席していたとき、スペクテイター紙の筆者の名声をけなす人々が、スペクテイター紙に寄せられる手紙は、筆者のどの仕事よりも優れているというわけではないが、望ましいのだと言っているのを聞いてとても満足しました。このとき、いつも陽気な手紙が話題に上がります。観察者が自分宛てに書いたのだと考える人もいますし、寄稿者から受け取ったと思うので褒める人もいます。手紙の書き主は健康を気にしすぎる人だ、看板検察官だ、扇を使いこなす人だ、フープ・ペティコートだ、1年中寝ているニコラス・ハートだ、サー・ジョン・アンヴィルだ、ロンドンの呼売り商人だなどと言います²⁾。私はほかでもなく意地の悪い人たちの力をそぐのが好きですので、これを効果的に行うために、彼らが意図しないときに、往々にして私を褒め称えることになっていること、また、私を貶めていると思っているときに、私の著述を認めているということを彼らに知らせておかななくてはなりません。こういった不幸な紳士数々が、明白な主張によって、私が前日に書いておいた手紙を書き留めることができないのだと立証しているのを耳にしたことがあります。誰かが曖昧な言い方をして、たまたま居合わせた人々の賞賛を浴びることになる手紙を自分たちが送ったのではないかと疑う理由を述べているのを耳にしたことがあります。こういった厳しい批評家は、私が書いていないことを私のものだと認めるのを嫌がりますので、芝居小屋のライオンやイノシシや植木鉢がその名で送って来た手紙を本当に書いたのかどうか自信が持てなくなります³⁾。それゆえ、こういった紳士には、つぎの理由から、私がしばしば私の考えを手紙にしたためるために前述の方法を取るのだということをお知らせしておく必要があります。第一の理由は、自分で認めないで他人をからかおうとする狡猾な人々から逃れるためです。第二に、知られており確かな筆者のものは決して賞賛しない人々から少しでも褒め言葉を引き出すためです。第三に、もし仮名にせず観察者として書いていたら手にすることが出来なかったような多様な性格を紹介する機会を提供してくれたからです。第四に、架空の名前や性格に帰した滑稽な文章を私が書いたものとして公表していたら、観察者としての威厳が痛手を受けていたと考えられるからです。そして最後に、手紙の末尾に追加的な考えをごく自然に紹介するのに有益だからです。

同様に、意図せずに私に面目を施してくれる人たちがいます。私の考えの多くは、外国語で書かれている書物を言い換えているか借用しているのだと言う人たちがそうです。学識よりも蔵書の数で有名で、そのことを私的な会話で何度も断言している人のことを噂で

1) オウィディウス『変身物語』2.430

2) 第25, 28, 102, 127, 184, 299, 251号参照。

3) 第14, 22号参照。

聞いたことがあります⁴⁾。もしこれが真実であれば、彼は自分の知識で喋れないのは確実だと思います。しかし、もし彼が収集した書物を読んでいるのであれば、この非難はまったく根拠がないと思うに違いありません。本当に学識のある人たちは、私の無罪を宣告してくれるでしょう。私は非難されるにはほど遠く、著者から文章を引用するときには私自身の文章と思われぬように細心の注意を払っています。しかし、この主張は実際には私が公表したことへの賛辞となっていますので、それに論駁するというよりもむしろそれを誇りに思うべきなのです。

こういった思索から私が手に入れるごくささやかな名声さえも私から遠ざけようとする人たちは、優れたものは私が紹介した架空の草稿だと考えます。正直言って、私の創作というよりもむしろ私の道徳観を反映しているように思えますので、その人たちの異議がとても気に掛かる人たちもいます。彼らは、筆者が見たこともない、あるいは、筆者に関わりのない行為や講話の草稿を公表するときには、その筆者は虚偽の罪を犯しているのだと言います。しかし、こういった紳士はこれまでに活用された寓話には例外を免れないものはないのだと考える方がいいのです。この考えによれば、何事につけ、かつて事実でなかったことを無邪気に語ることは出来ないからです。おまけに、ごく普通の読者なら、私の書き方によって、私がお伝えする何が真実で何が作り話かが分かります。

私は私の仕事への異議に何気なく反論してしまいますので、この種の新聞は常に気晴らしとなるテーマを扱うべきだと断言する人たちがいること、そしてまた一方で、直ちに信仰とか学識の向上につながらないようなことは非難する人たちがいることに注意しておく必要があります。私の仕事には双方の支持者が相半ばしていますので、この議論はみなさんにお任せしたいと思います。もし私が不道德なテーマで真剣になったり、真剣なテーマでふざけたりしたら、読者の非難を受けても当然だと思います。また、もし私がどう見ても罪深いことを意識していたり、仕事の大部分が悪徳や無知に心から反対していなく、真の知識と美德を支えていないものになっていたりしたら、私はみなさん以上に、自分に厳しくあたることになります。一方で、読者は各紙面を別個の紙面であり、それぞれが独立しているものと考えていただきたいと思います。

本紙はつぎの手紙で締め括りたいと考えます。この手紙は、私が公表したほかの手紙も何通かはそうですが、実際に私の元に寄せられたものです。こういった手紙の書き手に恩義があることを認めなくてはなりません。

前略

今朝、小生は貴方の支持者たちと同席しました。そこで、わが国の劇場に当てはめたキケロの動作に関する考えをととても満足して拝読しました⁵⁾。ところで、貴方のクラブの会

4) この人物はおそらくトマス・ローリンソンと考えられる。ローリンソンは書物収集家で、1725年8月6日、オールダーズゲイトの自宅で死去。彼の膨大なコレクションは1722年から1734年にかけて売却された。

5) 第541号参照。

員をまた一人失っておられるのを知って、私たちは残念に思いました。サー・ロジャーは亡くなられ、立派な牧師さんは死にかけていらっしゃいます。セントリー大尉は財産を獲得され、ウィル・ハニコムは農家の娘さんと結婚され、テンプル法学院の学徒は自分の職業に専念されます。こんな状態で最後はどうなるのでしょうか。私たちは、これは公共のためにならないことの前提ではないかと危惧しています。貴方が新会員の選出日を速やかに決められないと、わがスペクテイター紙が無くなってしまうのではと心配しています。この件で貴方に申し入れることにしているご婦人方がいらっしゃると聞いています。もし貴方がすぐにでも覚書を見せていただけないと、全国各地からとても有益な仕事を続けて欲しいとの申し入れは殺到することでしょう。何卒、この困惑状態から救出していただきたいと思います。

草々

スペクテイター紙愛読者より

第543号 1712年11月22日（土曜日）

【アディソン】

ひとりとして同じ顔立ちの者はいないが¹⁾、かといって、
まったく違っているのでもない。(オウィディウス)¹⁾

古代人で解剖に熟達した人々は、人体の外部および内部の構造から、これは知恵と力を超越した神の御業だと結論を下しました。解剖の知識が進むにつれて、人体の形成において神の御業がいかに素晴らしいものであるかが明らかになりました。ガレノスは解剖をしたことで改心し、報告書では神の存在を認めざるを得ませんでした²⁾。実際、古の解剖学者たちには確かな機能の分からない器官が沢山ありましたが、診察する大部分がいくつかの機能に見事に順応していることが分かったので、彼らが決めかねている機能は、神の知恵によってそれぞれの目的に見合うように設計されているのだと確信しました。現代の解剖学者たちによって、血液が循環していることとかその他多くのことが明らかになりましたので、私たちは人体の構造に新たな不思議が存在していることが分かりますし、それぞれの器官には古代人が何も分からなかった重要な機能があることに気づいています。要するに、人間の体は、最高の検査対象となる題材です。人体はほんのうわべだけ見るとこの上なく繊細な知恵で作られているように見えますが、探求すると変わり、調べれば調べるほど驚嘆させられます。私がここで人体について語ることは、解剖学上の所見の対象であるあらゆる動物の体にも適用することが出来ます。

動物の体は私たちの感覚に適した対象となります。動物の体は神の独特な体系に組み込まれており、範囲は限られています。目は体を見渡すことが出来ますし、引き続き調べる

1) オウィディウス『変身物語』2.13-14

2) ガレノス（A.D 201 死去）はギリシアの医者で、彼の論文はルネサンス期まで医学の基礎となった。

と、すべての器官を究明することも可能です。もし地球そのものあるいは宇宙そのものの本体が、私たちが探求するにふさわしいほどの大きさで均衡が取れており、目や手で扱えるほどのものであって、動物の体のように私たちの感覚の検査に委ねることが可能であれば、人体の構造と同様に、地球の本体も不思議でうまく仕組みられた構造に思えることは確かなことです。地球のすべての部分および一つ一つに、すべての動物の体で発見するのと同じような連鎖と従属、必要性和有益性、美と調和があることが分かるはずです。

理性を高めれば高めるほど、そして、広範な対象を捉えれば捉えるほど、創造という御業における神の知恵についての発見は大きなものとなります。現代の奇跡として登場しているサー・アイザック・ニュートンという人は、惑星の全体系を見通すことが出来ます。彼は、重量、数、大きさを考察し、より限られた知性によって人体の体系から推定できるのと同様に、そこから無限の力と知恵の証拠を引き出します³⁾。

ところで、解剖に話を戻し、これから私たち人間の目に映る動物の体の構造と組織について考察したいと思います。私の考えでは、動物の組成には全知全能の神の御業が伺え、それを立証する証拠は数限りなくあります。永続的な均一性と一貫性には偶然性が一切作用していないということを明白な原理として言明出来ると考えます。もし万一、サイコロを1万回振っても同じ数字が出るとか、5回連続で直前の数字よりも小さな数字とか大きな数字が出るとしたら、誰もがサイコロの一振りには何か見えざる力が作用していると思うに違いありません⁴⁾。これは自然の働きにおける一連の出来事です。動物は大きさがそれぞれ異なりますし、種もそれぞれ異なります。犬あるいはライオンの種類を調べてご覧なさい。そうすれば、この言い方が許されるとしたら、いかに多くの自然の作品が多種多様な版で出版されているかが分かります。爬虫類とか水棲動物を調べて見ると、いくつかの種では、寸法とかさが違うだけでほぼ同じようなものが沢山います。大から小までほぼそっくりのいろいろな生き物がいるわけです。動物の自然史に精通している人には不必要ですが、神の規則的な振舞いの例を示すことは際限がないことで、退屈なさに相違ありません。宇宙の壮大な調和は見事なもので、同一分野で夥しい部門の生き物が走り回っているのに気づきます。この思索を自然の無機物にも広げることが出来るかも知れません。星や惑星、石や植物および創造された地球上のその他成分と同様に、無機物の世界でも、物質が類似の体系に配置されているのが分かります。一言で言えば、多くの原種の提示だけでなく、それぞれの原種の多様性においても、神は善と知恵をふんだんに示しておられるわけです。

この考えをさらに推し進めてみますと、すべての生き物はその生き物が所有しており、同様に複雑な他の器官と瓜二つの非常に複雑な多くの器官を有しています。動物の生存と維持のためには目は一つで十分なはずですが、状態をよりよくするために、都合のよい位置に、大きさも組織も同じ目をもう一つ配置しています。自然の働きがこのように精巧で

3) ニュートン『光学』参照。

4) ケケロ『神々の本性について』2.27.93 から引かれたと思われるお気に入りの主張。

一様なのは偶然なことではありません。かりに百万個のサイコロが二度同じ数字が出るとしても、これ以上の不思議はあり得ないでしょう。これと同じことは、腕や手や指にも言えます。そうでなくても人間はうまく生存出来たでしょうが、私たちの体もごく小さな部分に至るまで完全に二分されています。それどころか、体は非常に入り組んだ無数の繊維の織りで成り立っているのですが、一つの器官は同じ体内で何度も繰り返し登場します。各器官は独自の立場の都合によって大きさはまちまちです。こういった不思議な作品に神の御業が働いていないと考える人は、奇妙な知性の持ち主であるに違いありません。体の器官のこのような複製は、これが無くても最高とまではいかににしても、まずまず生存できると思われませんが、明らかに全知全能の考案者の存在を証明しています⁵⁾。体の管に見られる無数の複製も、偶然の仕業ではあり得ないことの明らかな証左となります。これを人間の目には小さすぎて入らない無数の生物だけでなく、私たちの知っているすべての動物や昆虫に当てはめて見ると、この主張はもっとよく理解出来ます。生物界のそれぞれの種が互いに生存に都合よくなっているのですが、非常に多くの点で互いに似通っていることを考えれば納得が行きます。動物の体が物質の偶発的な集合によって作られているということよりも、サイコロを百万回振っても偶然同じ数字が出るということの方がもっともらしく思えます。無数の例で同様の偶然の出来事が生じることは、常識の支配下になんて軽信を必要とします。互いに類似点および大いなる生命界を維持するために必要な違いを備えているあらゆる生物の両性つまり男女雌雄ということを考えて見ると、この考察をさらに進めることが出来るかも知れません。

生き物の体の形成における神および神の超越した知恵、力、善を証明するものは数多くあります。これに関しては、読者には、他の著述、とりわけ、『創造』という題名のついた詩の第6巻をお勧めします。そこでは、人体の解剖について非常に明快かつ簡潔に語られています⁶⁾。本日の思索についてはこれまで詳細に述べられているのに出会ったことがありませんので、私としましては特に注意を払った次第です。

第544号 1712年11月24日（月曜日）

【スタイル】

人はどんなに人生の計画を立てたつもりでも、自分を取りまく状況が変わったり、年を取ったり、経験を重ねることで、必ず何か新しいことを発見したり、注意すべき教訓を得たりするものだ。知っていると思いこんでいたことを本当は何も知らなかったり、最も大切だと思っていた考えが、実際の生活においては、自分でも受け入れられないものであったりする。(テレンティウス)¹⁾

5) アディソンは「全知全能の考案者」(an all-wise contriver) という言い回しを第121号でも使用した。

6) サー・リチャード・ブラックモアの『創造』は、1712年2月28日、サミュエル・バックリーとジェイコブ・トンソンによって出版された。

1) テレンティウス『兄弟』855-8行。この箇所の日本語訳は、山下太郎訳（ローマ喜劇集5、京大

わが友セントリー大尉のつぎの手紙には、不幸な状況の変化を有利に導くようにうまく心構えをするだけでなく、理性的かつ平静な気持ちに気づいている心情が伺えるものと私は考えます。

11月15日、ウスターシア、カヴァリ邸にて

前略

私は誉れ高い縁者サー・ロジャー・カヴァリの財産を継承することになりました。正直なところ、私にとって、誠実で率直な人が気前よく享受した資産家を維持して行くことはたやすいことではありません。(私に課せられた大きな義務を考えれば)彼の人格を傷つけることは出来ません。だが、クラブで話されているのを聞いたと思う真実、つまり、人間社会では、素晴らしい才能はあるが冷たく無気力な人よりも、才能には恵まれていないが温かく気立てのよい人のほうが高く評価されるということを、私は固く信じています。ああ、どうしてわが立派な先祖の欠点を口ににくいのでしょうか。彼が上流階級の人たちとの交際が苦手であり無力であったことは、彼の死去に伴って過去のものとなっています。そして彼の最高の資質は今でも生きています。田舎ではこの賢明な人の一生の苦勞に値する名声を残しましたので、彼の欠点をあげつらうことで彼の美点を下げることにはならないと思っています。ところで、サー・ロジャーが居酒屋で若い女性の内密の性格を詮索したとなっている貴方の記述の一節を読者の多くが誤解していると言っておかなくてはなりません²⁾。彼が女性にやましい気持ちを持っている例としてではなく、彼に罪人を改心させるのはとても簡単なことだと思わせる彼の心の純真さを示す例として貴方がその出来事を取り上げられたことは分かっています。明敏でない読者にはその微妙な記述は理解出来ません。しかし、実際のところ、今回の私の主要な用件は、貴方に私の現在の心境と新しい財産を所有することを心待ちにしている満足感をお伝えすることです。サー・ロジャーが抱えていた召使については、解雇するとわが邸の生計の軽減につながる者を除いて全員そのまましました。善良な勲爵士が私に面倒を見るようにと書き残した召使は、私が新たな気持ちで出発できるように四等分し、それぞれの生活に多くの好条件を付け加えましたので、あらゆる機会にお互いを大切に仲間として助け合うようになっています。手元にはかなりの額の現金がありますが、それを共通の関心事のために召使たちの間で費やしています。しかし、召使の能力というよりも美点にしたがって貸し付けています。私が特に恩恵を施した者には、生計を立てて行く助けを望んでいる男女を問わず若い貧しい者たちのためになるように、税を課すことにしています。雑事をうまく処理し、思いやりをかけることで、私の資産が毎年増えていくことを期待しています。私の家族つまり私自身の好意によって、私は貧しさから抜け出した者が保証する貧しい者たちにお金を貸してやります。これを実行可能にしているのは、もし彼らが私のお金で何か善いことを行えば、彼

学学術出版会、2002年)を借用。

2) サー・ロジャーとスーキーとの出会いについては、第410号参照。

ら自身の信頼につながるからです。義務感を持つ者は自分の家族のために尽くすので、私は例外を設けません。私は四千ポンドをこのように費やしています。これによってどれほど多くの人々が恩恵を被っているか想像できません。サー・ロジャーが推奨したように、私は義務を無効にする条項をつけて、徒弟期間が終了しないうちに亡くなる場合に備えて、金を貸し付けています。こうすることで、親族や親方は、徒弟期間終了後、一人前の仕事を3年間して恩返しができるように、気を配って子供に仕事を仕込むことになります。以上のことが、私が財産を手に入れてからの出来事です、私はあらゆる機会を利用して引き続き近隣の人々の幸福を促進して行くことをお約束します。

ところで、これまでの生活から得たささやかな取り決めに紹介させてください。これはどんなことであれ、今後の生活においても私に大きな満足感を与えてくれることは間違いありません。

人には偏見があって、教え込まれた生き方を正当化しがちで、これを克服することが間違いだと言い切れません。これは他国の利益よりも自国の利益をえこひいきするようなものです。若いときから軍隊で培われた考え方から、私は軍人としての生活で、謙虚さ、気立てのよさ、正義、そして人間性を維持してきた紳士を最も貴重で立派な人物と考えています。人生の大半を、差し迫った危険を経験し、つらい監視や恐ろしい警報や困難な行軍を経験し、その後最も徳高い市民生活のルールにふさわしい節制した生活を送ることは、通常ほかの人たちが受ける処遇よりも大きなものになって当然の美点となります。この価値のある人がそれほど多くないにしても、私たちの全盛期に経験した輝かしい出来事に勝るものはないものと確信します。軍人の人格については、貴方が町で見かける赤いコートをはおった無遠慮で生意気で高圧的な人物の正反対だと言っておくだけで十分です。お伝えしておきますが、私は軍人という職業に敬意を表して、国のために軍隊で尽力している紳士を食事に招く、また、時には1年でも一時でもカヴァリ邸に逗留してもらうためのお金を別にしています。わざわざ来ていただく人には、田舎生活を満喫してもらうために馬や召使やその他さまざまなものを提供する積りです。もしキャンパーフェルト大佐が町に滞在中で、ふさわしい扱いを受けていないとしたら、わが邸に喜んで歓迎します³⁾。この紳士の軍人としての申し分のない知識や純真な物腰、気立てのよさを知ると、ほかの人々も私の住まいへやって来たくなくなるに違いありません。私の知人も彼に似通っているので招かれるのだと考えてもらえると嬉しく思います。

私の友人たちには、(私は田舎の紳士になっているのですが)、私が彼らの節制や節度を侵害すると危惧する必要はないということを知ってもらいたいものです。私はクラブでお互いに培った法外な喜びを軽蔑するといった良識は失わない積りです。とりわけ、最愛のキケロにならって、食べ物の喜びは飽満ではなく欲求にあるということを記憶に留めておきます。非常に激しく喜びを追求する人はそれを入手するのはきわめて稀です。今、私

3) キャンパーフェルト提督はスピットヘッドで溺死した。スピットヘッドはポーツマスとワイト島の間にある。

は哲学者に宛てて手紙を書いています。昨日キケロで読んだ一節で得た満足感について触れざるを得ません。アテネのある貴族は、自宅で食事をしたつぎの朝、プラトンに、「あなたとご一緒できたことはその時だけでなく、翌日も楽しくなります」⁴⁾と賛辞を表したのです。

草々

ウィリアム・セントリー

第545号 1712年11月25日（火曜日）

【スティーラー、ギグリ】

それよりもどうだろう、永遠の平和と結婚の契りを
成就させようではないか。(ウェルギリウス)¹⁾

中国とローマの教会の連携を提案する中国皇帝がローマ教皇に宛てたつぎの手紙は好奇心旺盛な人たちに受け入れられるものと思わざるを得ません²⁾。正直言って私自身は、教皇が聖なる方の代理者であるように、皇帝は解釈者としての権限を持っていると考えていますので、二人の盟約に大きな喜びを覚えました。ローマの権威者と中国の皇帝との間にどのような交渉があったのかは、(日々執筆している私たちは途方に暮れる話題に翻弄されるのですが) そのうちに明らかになるでしょう。一方、両者は権力と権限の基本について合意しており、信仰の問題で考えが異なっているだけです。問題なく進展することが期待出来ます。

教皇宛ての中国皇帝の手紙（インド諸島書記官イエズス会士がイタリア語から英訳）。

司教たちの統括官であり、クリスチャンの精神的指導者であり、ヨーロッパの諸王を聖別なさるこの上なく神聖なるクレメンス9世閣下へ

神の寵臣ジオナタ7世は地上最強の権力者であり、この世の最高位に昇っている。彼は黄金の階段を百段上がった中国の翠玉の王座を占め。忠実なる僕たちに神の言葉を伝える。そして、彼は115の王国と170の島々の人々の生死を握っている。彼はダチョウの羽ペンで書き記し、健康と長寿を祈願する。

わが時代が到来し、若き花は実をつけんとせん。そして、忠実なるわが臣民の願いを充たし、彼らを守る種を増やさんとしている。余はなまめかしい聖母マリア様の元に身を寄せ、従順な子羊として、野生の雌ライオンの乳房を吸うことにした次第。ローマの人民が多く征服できない貞節な婦人たちの父であると考えて、余はその一人を抱きしめんとし

4) キケロ『トゥスкулム荘対談集』5.35.100

1) ウェルギリウス『アイネーイス』4.99-100

2) 当時の中国（清）の皇帝は、康熙帝（在位1662-1722年）だった。ヨーロッパと接触した最初の皇帝とされる。1665年時点でのローマ教皇はアレクサンドル6世で、本号の発行時はクレメンス9世（在位1700-1721年）。

て力強い腕を差し伸べる。その婦人は閣下か神のめがねにかなった偉大なる聖職者の私生児にしたいと存ずる。彼女にはサラの権威とエステルの貞節とアッパの知恵をちりばめて欲しいのだ。彼女の目は天と地を見るハトの目のように、口は朝露をついばむ貝の口のようになりたい。年齢は月齢が200を超えないものがいい。背丈は青トウモロコシの穂に等しく、胴回りはひとつかみできる程度がいい。

彼女に衣服を着せて連れ帰らせるために使節団を派遣する。大河の堤で彼女を出迎え、馬車に乗せることとする。彼女は彼女自らが選抜した24名の修道女たちと一緒に神を崇拝し、春のキジバトのように歌うことが出来るのだ。父であり友である閣下は、余の願いに応じて、わが帝国とヨーロッパ諸国とが永遠に友好関係を結ぶ機会にしていきたい。そうすれば、鶯が木々にまわりつくように、余は閣下の掟に帰依する所存。閣下の管区内にわが王族の血を振りまくことが出来る。前述の使者がお伝えするごとく、わがアマゾン族のなまめかしい恋情で王たちを元気づけることが可能になる。

イグナティウスの黒衣の息子たちとドミニクスの白衣と黒衣の息子という二つの立派な宣教師グループの和睦を維持されることを奨励する次第³⁾。双方の助言はわれわれを導いてくれ、海水に投じられた油が光を放つように、神の教えに光を投じてくれるのだ。

最後に、王座に昇りつめた余は、閣下に帰依し、双方が同盟関係であることを宣言する。そこで、この書簡には皇帝として捺印する。わが治世第4年目、第3太陰月8日、世界の長たるわが都にてこれを記す。

ローマからの手紙によると、この書簡が届いてからというもの、紳士淑女はもっぱらこの話題に集中しているとのこと。この書簡を翻訳したイエズス会士によれば、イタリア語では元の書簡にあった威厳がほぼ失われているとのこと。現皇帝の前任者からフランスのルイ14世宛てに同種の申し出があったが、当時は政治的な交渉の場にはほとんど女性は登場しなかったので、フランス宮廷の婦人は誰も航海しなかったようです。教皇への接し方は、中国の儀礼によって、非常に礼儀をわきまえたものになっています。なぜなら、皇帝は教皇に宛てて未交尾の雌ダチョウの羽ペンを使って書いているからです。このような羽ペンはこれまで嘆願書を書く以外には使用されなかったのです。信仰のために、長旅をして女帝となる熱意のある婦人のために指示が出ています。インド諸島の宣教師会の会長は、中国の地でローマカトリックを促進するこの婦人および随行員たちに必要な免罪符を用意するために、中国で蔓延している罪を列挙しました。

観察者元締めへ

最近、けた外れに大きなフランスの帽子がいくつも小生の監視所のそばを通り過ぎて行くのを目にしました。

3) 康熙帝の時代には、北平（現北京）にはイエズス会だけで、イエズス会と対立したドミニコ会は浙江にいた。

ジョン・スライ⁴⁾

第546号 1712年11月26日（水曜日）

【スティーラー】

売り手が知っていることは、買い手に分かるように
すべてをさらけだす。(キケロ)¹⁾

どこへ出掛けても、あらゆる商品を購入するときには、騙されないようにする技術が必要だというのは、とても恥ずかしいことだと思います。もし私が外国の物を翻訳して、それを読者に知らせないとしたら、私自身が詐欺師だと思ってしまいます²⁾。シバー氏がフランスのある芝居をわが国の舞台に持ち込んでいるのだということをみんなの噂から知りました。そこで、私自身は何が彼の物で何が外国の物なのかをみなさんに知らせるのが重要だと考えました³⁾。『リハーサル』を見にやって来たとき、役者たちは同胞をとてえこひいきしており、彼らの台詞や演技はとても優美で力強いものでしたので、上演の良し悪しを判断するのは容易なことではないと思いました。オールドフィールド夫人が勇ましい娘役なのですが、役柄をうまくつかんでおり、彼女の演技によって、台詞は慎み深く、至当で気高いものになっていると思えました。恐怖や同情といった感情がとても巧みに喚起させられ、芝居全体も技巧的で驚くほどの出来栄えだったと思われます。私たち書き手はこの種の役者の努力はあまり好きではありません。事務弁護士や薬剤師が助言するときに、医者や法律家がそうであるように、私たち書き手も軽蔑してしまうものです。シバー自身は、私が公平に評価し、読者のことは別にして、観客のことをしっかり考えた芝居であることを認めて欲しいと勝手に考えたのです。彼は観客を引き付けることに関して、表面上の喝采だけでなく、役者の表情や声や身振りを巧みに操って観客の気持ちに入り込むような好奇心をそそることを実に多く付け加えました。私は『リハーサル』ではこの勇ましい娘が実に立派な感動的だったことに同意せざるを得ませんでした。

芝居の真価は私たちを楽しませることにあるので、演技や誇示や衣装の強みを発揮することは許されます。著者が自分の商品を販売するさいの誠実さについて私が言っているのは、他人から借用したことはすべて認めて、お金を出している観客のために原作者を明らかにすべきだということです。ところで、本日の話は通常の商売をしている一般の儲け一点張りの振舞いについて述べる積りでした。利益は公共の利益とすべきで、買い手の利益を考慮しないで儲けに走ることは不誠実であると考えた哲学者がいます⁴⁾。自分は穏当

4) ジョン・スライに関しては、第526、532、534号参照。

1) キケロ『義務論』3.12.51

2) 第542号参照。

3) シバー『ヒーメイナ、またの名を勇ましい娘』は、コルネイユの『ル・シッド』（1636）をベースにしたもので、11月28日、ドゥルーリー・レインで初演があり、12月4日まで計6回上演された。

4) この哲学者はマケドニアのアンティパトロス。

だと考えると自分をごまかすことになることがあり、商品の都合のいいことも悪いことも何も言わずに販売する詐欺師同然となります。日々あちこちで観察される言語のはずべき乱用や良心の麻痺によって、公平な目をもってすれば、シティー全体が泥棒の巣窟となっています。それゆえ、コーンヒルを通りかかったとき、最近不運をかかっていますが、リンネル商人でとても有名なあの誠実な市民ジョン・モートン氏の店が改装されているのに気づいたことは、私にとって大きな喜びとなっています⁵⁾。困窮状態に陥って以来、彼のあおりを受けた人々からの友情を失わないだけでなく、法律によって彼の資産を委託した人々から誠実さを認められる生活をして来たことは大きな満足感につながるものと思います。

この市民の逆境は、今後彼と取引をする人々にとって大きな長所となります。友人たちの貸し付けで始める仕入れ品に対して、彼は掛け売りという危険にさらすことはできず、現金取引にします。こうすることによって、彼は最良の品を最安値で売買することになるのです。彼は各商品に値段を添付することにしします。その結果、彼の店では、この上なく無知な召使や子供でも、この上なく手練れた人物と同じくらい優れた買い手となります。彼の希望とお客の幸運が一致するわけです。こういった取引を奨励することは、通常取引に伴ういまわしい罪悪感を締め出すだけでなく、現金で購入する人は家族のためにそれだけ節約することになります。ちょうどそれは、国家が国のために地租を取り立てるのと同じことなのです。つまり、20シリングで4シリングとなるわけです⁶⁾。

観察者殿

最近受け取った手紙を読んで小生の心は感謝の気持ちで一杯になりましたので、是が非でもそれを匿名の寄稿者のみなさんにお伝えしたくなりました。手紙を書くことで、貴方の生来の寡黙さにとってそうでありますように、小生の強制された沈黙にとって慰めとなってくれることを期待しています。小生の寛大な恩人は小生に感謝の言葉を口にさせてくれず、まるで自分にこの上ない恩義があるかのように接し、小生は財産も年齢も知性もはるか上の人から期待できないような扱いを受けています。まるで小生には行為を受ける確かな権利があるかのように、彼は特別な寛大さを示して巧みに接してくれます。しかし、こういった処遇は、恩義に報いる可能性がまったくないとき、それを受ける誠実な人間が感じる苦痛を和らげる見事な手際に過ぎません。

プレゼントはそこに慎み深い物腰が伴うと2倍になります。小生が言葉にできないほど有難く思っているのは、小生がこの世でとても尊敬している人からのプレゼントだということなのです。プレゼントは小生の幸運に繋がりますので、大きな喜びとなります。しかし、これがあの善良な人の友情のしるしだと考えますと、さらに大きな喜びとなり、我を忘れてしまいます。プレゼントを見る目も恋人の眼差しとなり、もはやプレゼントではな

5) 第248号参照。

6) 地租は1ポンドにつき4シリングだった。

くそれを授けてくれた人を見ているわけです。小生の友情にはお金が手に入るといった気持ちはまったくありませんので、彼に負担になっているはずだと考えるとしばしば苦痛を覚えます。そして、ふさぎ込んだときには、これで友情が冷めるのではないか、最後の好意は友情を断ち切る一種の遺産かも知れないと考えて、彼の寛大さを傷つけざるを得ません。

こういった不安はどう見ても根拠がなく不当であることは認めますが、これは目に見えない危険の影に脅えている資産家の心配だとお許しいただかなくてはなりません。

このように小生は貴方に率直に打ち明けていますので、友人の善意は報われるのだと知って小生が抱くひそかな満足感を隠すことはいたしません。神の摂理は彼に十分な祝福を用意なさり、小生はそのお手伝いは出来ませんが、きっと債務を免じていただけると思うと喜びを覚えるわけです。

しかしながら、どんなに感謝してもし切れないのです。彼に感謝することを一生の務めとし、最大の援助をしてくれる彼や親友たちに敬意を表することにします。この手紙を活字にしていただけますと、ほんの少し小生の謝意が分かっているものと思う次第です。

敬具

11月24日 ダブリュー・シー

第547号 1712年11月27日（木曜日）

【アディソン】

もしあなたが怪我をしたとき、誰かが薬草をくれて、
それを塗っても効き目がなく、痛みが増したとしたら、
あなたはその効き目のない薬をまた使うだろうか。（ホラティウス）¹⁾

相手を当惑させずに褒め称えるのはとても難しいことです。つぎの寄稿者はこの非凡なわざを見つけ出しています。そして、友人たちと一緒にあって、明確ではありませんが愉快に私の思索を褒め称えています。もし読者の誰かが私に対する賞賛の言葉を公表するのは私が非難されて当然だと考えたとしても、私がそこにあるユーモアを削除していたら、同じように非難されて当然だったと認められることでしょう。

前略

私はしばしば男女両性の才人たちの私的な集まりに顔を出します。その集まりではたいていの場合、貴方の思索や貴方が取り上げて来た話題について延々と話し合うことになります。先週の火曜日は、貴方が最近出版された2巻の話になりました²⁾。人によって称え

1) ホラティウス『書簡詩』2.2.149-51

2) 8つ折り本の第3巻、第4巻は、1712年11月中に出版されたと考えられる。

る号が異なっていましたが、お気に入りの思索がない人はいませんでした。そのとき、学識を備えた一人の才人が、私たちに向かって、患者が受けた治療や苦しんでいる病状を公表するのが普通だが、しばしば公の印刷物でサー・ウィリアム・リードやグラント博士や薬剤師ムーア氏やその他著名な医師が褒め称えてられているが、私たちも同様の賛辞を送って、スペクテイター紙に報いるのも悪くはないと思いました³⁾。

この提案が受け入れられ、彼女用に閉じこんだ大型版の2巻を持参して訪問した先の夫人は、その2巻をみんなが行く窓際に置いておき、しばしば新聞の末尾に見掛ける独創的な文章で広告を書くようにと指示しました。私たちは書き終えると、それを炉辺でとても陽気に読み上げ、それを書き写しスペクテイターに送ることを全員一致で賛成しました。これを提案した紳士が冒頭につぎのような広告を書き込み、以下順次つぎの通りです。

あらゆる立場に適合する実効的な治療法：不機嫌、傲慢、悪意に満ちた党派性、その他人体に付随する疾病の治療法ならびに感染した時期が分かる簡単な方法⁴⁾。この万能薬はパン同様無害で味もよく制限する必要はない。この世にこれに匹敵するものはなく、王国の貴顕紳士同様ふんだんにある。

要注意：家族はこれを常備すべし

第3巻の最初の2号「嫉妬」について⁵⁾

私ことウィリアム・クレイジーは67歳なり、ここ数年不快な疑念、不安、気ふさぎに悩まされている次第。これは25歳のわが妻の若さと美貌が原因なり。ここに諸君のためを思って、私がつぎの2服を朝2回チョコレートと一緒に服用することで大きな効果があったこととお知らせることとする。署名してこれを保証する次第。

貧しい人々のために

接見会訪問という病気に苦しみ、毎朝偉人の応接室の入口でパンを入手せざるを得ない人たちのために、私エイ・ビーは長年この上流社会の病気に苦しんでいましたが、ボールドウィン夫人から購入した治療薬によって治癒したことを証言します。この薬は第193号と記された半紙に入っており、わずか1ペニーで誰でも入手できます⁶⁾。

心気症を確実に治癒する方法。第173号、第184号、第191号、第203号、第209号、第221号、第233号、第235号、第239号、第245号、第247号、第251号⁷⁾。検証済。

3) サー・ウィリアム・リードとグラント博士に関しては、第472号参照。

4) このパロディはポスト・ボーイ紙11、15号に登場。

5) 第170、171号参照。

6) ウォリック・レーンの書籍商アン・ボールドウィン夫人は、スペクテイター紙の販売者の一人だった。

7) これら12号の筆者はすべてアディソンだった。

チャールズ・イージー

私クリストファー・クウェアリは無礼で不必要な質問をするという口の病に苦しんで来ましたが、第288号と記された処方箋を精読してこの方、不必要な質問をしていません。

イギリスの美化剤を用いますと、第231号の慎み深さに関する論がそうなのですが、白あるいは青白い頬にとっても感じのよい赤みを与えてくれます。これは自然な肌の色と変わりがなく、親友も作り物と気づきません。何か塗っていると思われることもありませんし、害也没有⁸⁾。顔は非常に奇麗になり、こすれて落ちることもなく、化粧水や白粉やその他化粧品とは比べものになりません。これは確実にこの世で最高の美化剤なのです。

マーサ・グロウワーム

セント・ジェイムズ教区の私サミュエル・セルフは、生まれつき体質が酸過多なのですが、第177号を利用させていただきました。ここでは健康的な善良さの実行を奨励しており、血液にとって非常に素晴らしい柔和剤であることが分かりました。

一方、私エリザベス・レインボウは、頭の病に苦しみました。この病は1年ほど前、婦人たちの間で相当流行し、症状はフードの色となって表れました⁹⁾。医師が昨年新聞でみなさんに示した「頭部チンキ」¹⁰⁾を使用することで、わずか2、3日で回復しました。

私ジョージ・グルームは長い間気鬱症を患ってきました。そこで友人たちから教えられて「鉄分」¹¹⁾を摂ることにしまして、目に見えない医者から短信の形で朝届く薬を服用しました。それらの短信には、ナサニエル・ヘンルースト、アリス・スレッドニードル、レベッカ・ネトルトップ、トム・ラブレス、メアリ・ミーンウェル、トマス・スモーキー、アンソニー・メゴット、ラスティック・スプライトリー等の署名がありました。これがとてもとても効果的でしたので、今では快活で軽快でくつろいだ気分でご過ごせます。そこで、同病に苦しむ人たちにこれをお勧めする次第です¹²⁾。

草々

受け取りました広告をすべて掲載する余裕がありませんでしたので、紹介するのは一部

8) この広告は、第400、438、480号に掲載された。

9) 色付きフードに関しては、第265号参照。

10) 「頭部チンキ」は長い間人気があった。

11) 薬用ドロップ。スウィフトはステラ宛の手紙で「頭痛にいやなドロップを飲んだ」と書いた。

12) 寄稿者は、ナサニエル・ヘンルースト（第176号）、アリス・スレッドニードル（第182号、トマス・スモーキー（第202号）、アンソニー・フリーマン（第212号）、トマス・メゴット（第216号）、ラスティック・スプライトリー（第240号）。

に留めました。あとは別の機会に第4巻として掲載することにいたします。

第548号 1712年11月28日(金曜日)

何らかの欠点がない人はいない。欠点が最も少ない人が
最も徳高い人なのだ。(ホラティウス)¹⁾

観察者殿、1712年11月27日

本日の新聞とても楽しく読ませていただきました。そこで、第3巻で寄稿者のみなさんが触れておられない万能薬や解毒剤をいくつかお届けします。とはいえ、催眠剤がほとんど入っていない多様な医薬を置いている店は見つけにくいのだということを打ち明けておかなくはなりません。貴殿が容認できない真実を伝えようとなさっておられる手段を小生はとても感心しています。なぜなら、その手段は貴殿とともに消滅する秘密だと思うからです。小生は、貴殿の評論は優れた脳の洗浄剤であり、ある新聞で最近見掛けた広告に上書きできるものと思っているにもかかわらず、本号ではほとんど注目されていないと思います。その広告では、疾病や体に悪い食べ物などによって味覚が損なわれている人たちの味覚を回復させる効果的な薬の説明が載っているのです²⁾。貴殿の批評とりわけ率直さについて触れられたことがあるにもかかわらず、それをうっかり漏らすことは、貴殿の仕事とは思われません。第4号の冒頭で述べられている詩的正義に関する貴殿の意見は著名な批評家たちから論駁されると小生は思います³⁾。とても嘆かわしいことに、貴殿は糸巻の芯を巻き上げているようですが、もう少し詳しく述べられることを期待していました。確かにこれは貴殿の仕事のわずか1段落に過ぎません。これを小生のように注意深く読んだ人たちは異議を唱えることは何もないと考えます。しかしながら、貴殿がそこで述べられている意見を補強するために、問題の真相に到達しようとする追加的な論点を書いていました。これを公表なさるか否かは貴殿のお考え次第です。

小生に言わせると、ホラティウスによると、「人間誰もが欠点を持っており、欠点の多寡のみで人間の差ができる」ということです。ボワローは、ホラティウスが美徳について述べたのと同様の説明を、知恵について語ります。彼は「誰もが愚か者であり、その逆になろうと努力するにもかかわらず、人間の違いはその多寡によるだけだ」と言います⁴⁾。

現世の幸福について同様の文章を残している古代ギリシアの詩人が2、3人います。「一番不幸でない者が一番幸福なのだ」と⁵⁾。以上の3つの文章は、テーマは異なりますが同じ思考方法であることを知るのには、おそらく、教養のある読者にとっては面白くないかも知れませんが、小生としては話題をホラティウスの一文に帰したいと思います。

1) ホラティウス『諷刺』1.3.68-69

2) これは第75号から第543号までしばしば登場する。

3) ジョン・デニスがその代表格。

4) ボワロー『諷刺』4.39-40

5) メナンドロス *Gnomai Monostichoi*, 509

有徳というものは絶対的なものでなく、比較の問題ですので、厳密な意味で徳高いと言える人物は誰もいないわけです。人によってその量は違いますが、誰もが生まれつき不純物を持っています。このため、小生は完璧つまり欠陥のない人物を舞台に登場させるのはふさわしいことだとは思いません。それは同情を喚起させるのにふさわしくないだけでなく、本来そういった人物は存在しないからです。おそらく、スペクテイター紙が詩的正義という言葉に目を留め、悲劇作家たちを誤導させた理由の一つがここにあるに違いありません。この上なく完璧な人物は、頭上に罰を招き、降りかかる悲惨さについて摂理を正当化するに十分な悪徳を持っています。このため、悲劇の結末で、高潔な人物が幸福で意気揚々としているよりも、不運に見舞われ苦しむ方がはるかに教訓となるのだと思わざるを得ません。これによって人間性の尊大さは矯正され、観客の心は憐憫や同情といった気持ちで和らぎ、抱えている自身の苦悩が慰められ、成功によって人の徳を判断してはいけなのだと教えられます。弱点が何一つない古代の真の英雄が悲劇でごく自然に不幸と災難に追い込まれるようなことは考えられません。詩人はそれでも英雄に何らかの感情とか無分別を見つけ出し、神々が不当に彼を苦しめてはいかないのだということが分かるように提示することができるかも知れません。なぜなら、小生に言わせると、ホラティウスは、この上なく立派な人間でも、邪悪と呼べる程度ではないが、欠陥があると言っているからです。

ある紳士たちが主張しているような厳格な詩的正義がその通りだとすれば、これを悲劇だけでなく英雄詩にも敷衍してはいけない理由はありません。ところが、ホメロスにはほとんど何え、彼の描くアキレウスは、現代の批評家の表現を借りますと⁶⁾、その性格は道徳的には邪悪で、詩的に善に過ぎないのですが、この上ない栄誉と成功が与えられています。アイネーイスには罪がない不幸な人物が数多く登場します。ニーススとエウリュアルス、ラウススとパラスたちは全員不幸な結末を迎えます。ウェルギリウスは、特に、トロイア略奪において、トロイア人の中でも最も正義の士であるリーベウスが「リーベウスも倒れる。これは並ぶ者なき正義の士で、テウクリア人のあいだでも誰にもまして公正を保ったのに、神々にはそう見えなかったのだ」⁷⁾、そしてまた、パントゥスは彼の並外れた敬虔心によっても、アポロの髪紐によっても守ることができず、彼はアポロの神官だったのだが、「パントゥスよ、あなたのきわめて篤い敬虔心もアポロの髪紐もあなたが没するのを庇えなかった」⁸⁾と描写します。

ここでギリシアおよびローマの古代悲劇詩人の慣行について述べることはできますが、この点についてはすでに触れられていますので、黙ってやり過ごすことにします。小生の意見を補強するためにアリストテレスの一節を引くことが出来ます。ある箇所、この上なく高潔な人物が不幸になるとしたら、これはそれがふさわしいと考える人を正当化することにはならない、と彼は言います⁹⁾。アリストテレスの著述に精通している人は、彼は

6) カウリー『ダヴィデ』注を参照。

7) 『アイネーイス』2.426-8

8) 『アイネーイス』2.429-30

主題全体を分割して取り上げるために、しばしば架空の事例を利用し、実践に類型化することは出来ません。

彼自身は不幸な結末を迎える悲劇の方が、幸福な結末を迎える悲劇よりも賞を獲得したのだと断言します¹⁰⁾。小生は今第40号の思索について考えているのですが、そこでは観客を満足させる理由が述べられており、多くの優れた悲劇は両方を扱ってきたしそうあると考えられるのですが、一般的に、不幸な結末を迎える悲劇の方が幸福な結末を迎える悲劇よりも好まれるのだということを立証しているに過ぎません。

最後に、上記スペクテイター紙は詩的正義のルールからかけ離れて、善い人間が悲劇で不幸な破局に遭遇すると断言するのですが、悪い人間が罰を受けないまま死ぬかも知れないとは言っていないのだと言っておきます。この差異は非常に明白なことです。つまり、幸福を求めることが出来ないほど犯罪的な人間はそれほど多くはありませんが、この上なく善い人間も降りかかるかも知れない不幸や苦悩に対する摂理を正当化するに十分な悪徳を備えているからです。この上なく善い人間は罰を受けるに値するかも知れませんが、この上なく悪い人間は幸福を獲得する資格を持つことは出来ないのです。

第549号 1712年11月29日（土曜日）

【アディソン】

旧友の死にうろたえています、
彼を誉めることは出来ません。(ユヴェナリス)¹⁾

大半の人は安心すると、本格的な孤独つまり隠遁生活に入るのだという決意を持って世の中に出るのだと思います。私たちの不幸は、意図した隠遁が死によって遮られるまで、この立派な決意を先延ばしにする何らかの理由を見つけ出すことにあります。ところで、あらゆる人たちの中で、富を蓄積して年老いた人ほど世の中と別れにくくしている人はいません。彼らの心は利得に対する不断の気遣いで歪んでいますので、魂に別の性癖をつけ人生のどの段階でもふさわしく、特に最後の段階でふさわしいのですが、そういった対象に向かうように改造させることは非常に困難です。ホラティウスは、「年老いた金貸しが田舎生活の喜びに魅了されて、それを手に入れるために有り金をすべて回収した」と語ります。その結果はどうだったのか。2、3日経っただけで、また金を貸したのはどうしてなのか²⁾。生まれつき雄弁で、分別があり、誠実ですので、彼の話を聞くといつもとても楽しくなるのですが、尊敬すべき友サー・アンドリュー・フリーポートとの先週の話から、私は今つぎのような思いに駆られているところです。私たちはまだ残っているクラブの会員として二人で座っていたとき、サー・アンドリューはこれまでの多忙な人生についてい

9) アリストテレス『詩学』13.2

10) 『詩学』13.6

1) ユヴェナリス『諷刺』3.1-2

2) ホラティウス『エポード』2.67-8

ろいろ話し始めました。幸運な出来事をあれこれ並べ立てたのです。冷静になって考えて見ると、それは誠実な勤労に対する神の慈悲であり恩恵であり祝福なのだと彼は言いました³⁾。そこで彼はつぎのように言います。「友よ、分かってもらいたいが、私は自分を債権者であり債務者だと考える習性がついているので、神と私の魂についても、同じように収支決算をします。この場合、債務者側と見ますと、数えきれない項目が見つかり、それを数え上げるために算術が必要となります。一方で、債権者側と見ますと、空白ばかりとなります。ところで、私は創造主との帳尻を合わせるのは私の力に及ばないことにとても満足していますが、今後はそのことを念頭に置いて努力する所存です。それゆえ、友よ、私が思慮深い生活に専念して、今後、クラブには顔を出さないと聞いても、驚かないでいただきたい。」

彼に会えなくなることはとても残念ですが、私としてはこの立派な決断を是認せざるを得ません。その後、サー・アンドリューは手紙でつぎのように詳しく心境を語って来ました。この手紙はつい先ほど届いたものです。

拝啓

私が仕事から身を引くとお話したとき、クラブの友人たちはいつも私を励まし、「商人というものはいくら稼いでも満足することはない」という私の格言を繰り返し言って聞かせてくれましたが、今では、世の中には十分だと考え、あるだけのものを享受しながら余生を過ごす決意をした人間がいることをお知らせ出来ます。貴方は言う必要がないほど私のことを分かっておられます。つまり、私は財産を社会のために使うことにしたのです。私の財産の大部分はこれまで不安定なもので、海に投じるか債券に投じて一喜一憂しましたが、今では、実質的な地所や保有財産となり固定し安定したものとなっています。財産を株や風や波という不確かなものから移し、しっかりしたものの購入に充てました。これによって、私なりに慈悲を施す機会が与えられます。つまり、近隣の貧しい人たちを仕事に就かせ、彼らは自分が働くことで快適な生計を立てることになります。庭や養魚池や耕地や牧草地を慈善施設つまり救貧院にします。ここに飢えに苦しむ非常に多くの貧しい人々を収容する積りです。利用可能なかなりな土地があり、私の考えで、すでにその一部を耕し、またほかの箇所は柵をめぐらしたり、木を植えたり、湿地の排水をしたりしています。要するに、私には地面の持ち分がありますので、これを女王陛下のどの領地にも負けないくらい美しいものにすることにしました。すなわち、少なくともどんなにわずかな土地でも開墾して耕作できるように最善を尽くすのです。私が商業に従事していたときに、風がどちらから吹いても、私の持ち船のどれかが帰国できるように仕事を処理しました。私は農夫として、雨や太陽が私の地所に降り注ぐ場合は必ず土地の改良そして季節の産物の実りにつながることを願っています。私はこれまで、人生というものは何らかの点で他人のために役立たないと無駄に費やされているのだと思って来たのです。しかし、私の家

3) ポープ『倫理論集』3.375-8

のそばにある広々とした荒野の新鮮な空気に一人で立って見ると、いくつかの別の考えが湧いて来たのです。今では、私くらいの年になると、自分の心を整理し、来世の準備をし、死を甘受することが出来るのだと思います。それゆえ、これまで述べて来た有益な慈善のほかに、今は私設救貧院を建てるのに都合のよい場所を探しているところです。これが完成すれば、気前よく12人の老齢で退職した農夫に寄贈する積りにしています。私と同年齢の人たちと1日に2度お祈りをするのは大きな喜びとなるでしょう。私も彼らもいかに生きるかというよりはむしろ、いかに死を迎えるかという思いに浸ることができるわけです。学校で学んだ「事は結末が肝心」という素晴らしい格言を思い出します⁴⁾。これがウェルギリウスかホラティウスかは貴方がよくご存知です。これを適用するのが私のやる事なのです。もし貴方が私と一緒に田舎の空気を吸う暇が出来ましたら、貴方用に部屋を用意し、毎日、私が育てた牛肉や羊肉、私の池からとった魚、私の庭で採れた果物でおもてなしをします。わが家への出入りは自由です。要するに、いつでも大歓迎させていただきます。

敬具

アンドリュー・フリーポート

私が会員だったクラブは完全に解散となりましたので、来週、新しいクラブの計画について読者のみなさんに相談したいと思います。

4) オウィディウス『女主人公たち』2.85